

相談窓口の設置や公共事業を前倒し

緊急経済・生活支援対策本部を設置

企画課

世界的な景気後退の中、市内企業と市民生活を支援するため、12月16日、「庄原市緊急経済生活支援対策本部」を設置しました。

本庁と各支所に相談窓口を設け、中小企業融資利子補給対策や緊急生活安定資金などを整備。1月13日現在で、融資や雇

用、住宅などに関する相談を58件受け付けています。

また、新年度の公共事業を前倒しするなど、第1次緊急経済生活支援対策事業として、約3億2千万円の補正予算を編成したほか、市営住宅の提供や市臨時職員の採用などに取り組んでいます。



滝口市長からカープ選手特製記念が贈呈

1月16日には、市役所ロビーで贈呈式を行い、8日に生まれた次女梨聖ちゃんの出生届を提出した岡田晋也さんへ滝口季彦市長から色紙が贈られました。

受け取った色紙には、前田智徳選手の「おめでとう」のメッセージとサイン、手形などが入っており、岡田さんは「カープ選手特製色紙を前から楽しみにしていました。将来、子どもと一緒に新球場でカープを精一杯応援したい」と喜んでいました。

政策推進課

新生児へカープ選手特製色紙 カープ・庄原市コラボレーション事業

市の新庁舎と新しい広島市民球場が完成する年を記念し、平成21年生まれの新生児全員に

カープ選手特製記念色紙を贈呈する「新生児応援プロジェクト」がスタートしました。

公共施設へペレットストーブを導入

木質バイオマス活用プロジェクト

政策推進課



遊YOUさろん東城に設置したペレットストーブ

市は、木質バイオマス活用プロジェクトの一つの取り組みとして、昨年度から、農林水産省の補助事業を活用して公共施設へのペレットストーブ導入を進めています。

暖房効果に加え、ペレットストーブのPRを目的に、本年度は、自治振興センターや観光・文化施設、支所など多くの皆さんが訪れる場所へ25台を導入。昨年度に市内全小学校へ導入した35台と合わせて、2年間で60台を導入したことになります。

今後は、昨年創設した市の補助制度（補助率1/3、上限額12万円）により、ご家庭や事業所への普及を図りながら、木質バイオマスの利活用が推進されるよう取り組みを進めていきます。



対策本部の看板を市役所玄関へ設置